

# 夢を現実に！新しいステージで輝け

ドラフトで3位指名を受け、東北楽天ゴールデンイーグルスに入団した福田将儀選手に喜びの声を聞きました。



「高校2年の春の選抜甲子園大会から絶対プロになるんだという思いが強くなりました」と福田選手(松尾町出身)。子どもの頃からの夢をつかみ「東北楽天ゴールデンイーグルス」に入団した。50m6秒0の俊足。瞬発力に富んだ「足」がプロでも最大の武器になることは間違いない。

## 甲子園の次はプロが目標に

野球を始めたのは小学2年生。松尾キングスターズで野球の楽しさを知る。当時から甲子園に行きたいと思い、先を見据え、中学からは九十九リトルシニアで硬式野球を始めた。高校は父の母校でもある習志野高校に進学。「つらかったことや苦しかったこともあがるが、結果がついてきて甲子園に行くことができたので全てリセットされました」と語る。



いつも見守ってくれるおじいちゃん、おばあちゃんと。

「一番嬉しかったことは、ドラフトで3位指名されたことです」と話す。ドラフトの時は、東都大学リーグの最終戦で、名前を呼ばれた瞬間には間に合わず、あまり実感が湧かなかったという。その後、自宅で録画を見てやっと喜びが湧き、「親孝行とおじいちゃんおばあちゃん孝行ができたことが嬉しかった」と笑顔を見せる。

## 一番練習した大学時代

大学1年生からレギュラーとして活躍したこともあり、相手チームから研究されてしまい、結果が出ない時期もあったが、「良いライバルに恵まれ目標をもって頑張れた」と振り返る。早く一軍に上がり、同じくドラフトで選ばれたライバルたちと対決したいと目を輝かす。

忙しい大学時代の息抜きは、「自転車ですぐ近くの多摩川を走る」と、休みの前の日に目覚まし時計を掛けないで寝るのが一番の楽しみでした」と若者らしい一言も。そんな福田選手にプロでの目標を聞くと、「一日でも長く野球を続け、チームに必要とされる選手になりたいです」と一点の迷いのない表情で話してくれた。

## こういう風になるんだという将来像を強く持つと、夢は叶う

小さな頃から夢を持ち、それに向かって努力することで夢を現実にした福田選手。「野球を好きになることが一番大事。こういう風になりたい、なるんだと思いがけず必ず夢は叶うと体感しました」と、後輩

へエールを送る。

楽天の新しい「マーク」の活躍にこれからも目が離せない。



中央大学時代は2度ベストナインに選ばれた。



福田将儀(ふくだまさよし)選手▶松尾町出身。1992年4月17日生まれ。外野手。松尾中-習志野高-中央大